

町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

## 震災後最初の行政改革大綱策定に着手

### 第1回益城町行政改革推進委員会

役場仮設庁舎で10月29日、第1回益城町行政改革推進委員会が開催されました。

町は、第4次行政改革大綱を基に住民サービス向上などに取り組んでいますが、その推進期間が令和3年度に終了します。そこで、新たな課題を踏まえた次期大綱を策定すべく、震災後最初の第5次行政改革大綱策定に着手。同委員会に計画の調査審議を諮問しました。

今後、有識者8人で構成する同委員会での十分な審議が行われ、計画原案が町に答申されます。



西村町長から諮問を受ける井田貴志会長



放り投げられ壊れたみこしを御仮屋へ運ぶ小谷地区の担ぎ手たち

## 12年分の思いを込めて…放り投げる

お法使祭が田原地区から小谷地区へ

10月30日、県重要無形民俗文化財に指定されている「津森神宮お法使祭」が開催されました。

お法使祭は、益城町、西原村、菊陽町内の計12地区を巡る神事です。当番地区では、ご神体を「御仮屋」に1年間祭った後、みこしに移し次の地区へ引き渡します。

この祭りは、みこしを手荒く扱うことでも知られており、今年は、受け渡し場所で田原地区の担ぎ手たちによる「みこし投げ」が行われましたが、無事に田原地区から小谷地区へとみこしが引き渡されました。

## 食品ロス削減と社会福祉の両立

(株)セブン-イレブンジャパンから商品寄贈

役場仮設庁舎で11月4日、(株)セブン-イレブンジャパンから町社会福祉協議会への商品寄贈式が行われました。

これは、同社、熊本県、熊本県社会福祉協議会の3者が7月1日に結んだ「商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定」に基づき行われたもので、町社会福祉協議会への寄贈が初めてとなります。

今回寄贈されたのは、お菓子や飲料、日用品などが82箱。上・下益城郡ブロックの社会福祉協議会で分配された後、町内の生活困窮者支援などに活用されます。



寄贈式に出席した関係者一同

Best Smile

今月のベスト笑顔

